

## II

# 計画の視点

計画を策定するにあたって、次にあげる基本的視点を踏まえながら、基本目標の達成に向け、各種施策を推進します。

### 1 子どもの視点

子育て支援サービス等によって影響を受けるのは、最終的には子ども自身です。過剰な保育サービスは、親子のコミュニケーションに支障をきたし、ひいては子どもの健全なる育成に影響を及ぼします。それでは本計画の意義をなしえないどころか、逆効果となってしまいます。

本町では、次世代育成支援対策の推進において、子どもの権利条約を全うし、子どもの幸せを第一に考え、常に子どもの利益が最大限に尊重されるように配慮することが必要であり、特に子育ては男女が協力して行うべきものという視点に立った取組みを重んじます。

### 2 次代の親づくりという視点

上に関連して、子どもは次代の親になるものという認識のもとに、人間性や社会性に富み、自立して家庭を持つことができるよう、長期的な視野に立った子どもの健全育成のための取組みを重んじます。

### 3 社会全体における支援という視点

次世代育成支援対策では、父母その他の保護者が子育てについての第一責任を有するというのは基本的認識ですが、地域社会の結びつきが低下する現在、地域社会の復元を踏まえた社会全体で協力して取組むべきこととして、様々な担い手の協働の下に対策を進めていきます。